

令和6年度 第2回 学校運営協議会 議事録

令和6年 9月 4日
飯野高等学校 校長室
進行(中村)

田村(○) 有馬(○) 内村(○) 多良(○) 黒葛原(×)
松窪(×) 吉牟田(○) 豊田(×) 石坂(○) 校長(○)

1. 会長あいさつ

台風の影響で1週間順延となりました。今後も何があるかわからないので、十分な対応が必要
先日の海棠祭は、日程や会場の変更によりバタバタしていたようだが生徒は頑張っていた
今後は、3年生の進路実現に向け頑張してほしい

2. 校長あいさつ

台風に伴う海棠祭の日程・場所の変更にも、臨機応変に対応できた。海棠祭文化の部と体育の
部の分散開催が功を奏した。
地震や災害への対応も進めたい。まもなく始まる就職試験にもしっかり取り組みたい。

3. 協議内容

「3年後の理想の飯野高校像」について、様々なご意見をいただきました。これらのご意見をも
とに、学校運営協議会として学校に提言すべき理想像を検討していきたいと考えます。

事前に提出していただいたもの

・存在感を放っている高校

高校は小中学校に比べて、その活動範囲から学校ネームが付帯してまわる機会が多く訪れる
様に感じている。身近なところでは「どこの(出身)高校?」と聞かれることは大人になっ
てもあること。その時に飯野高校と自信と誇りを持って言える立ち位置・存在になってほし
いし、出身者でなくとも高校名を聞いて、すぐわかるぐらいの高校になってほしい。

・さらに県外・国内認知度が高まってくる

梅北先生がいらっしゃるから。えびの市の人口増につながるから。

・自分の将来について深く考え、学びを深める場

授業、友人達との交友、探究活動などを通して学びを深めることで、将来心豊かに生きてい
くための礎を築くことができる。

・地域との連携を深め、ふるさとを愛する心を育む

探究活動を通して、地域内外の人と交わる中で、将来どこに住もうと「懐かしの心の故郷」
をもつことができる。

・多様な社会に適応できる生徒が育つ

地域みらい留学生に加え、海外留学生も積極的に受け入れ、今まで以上に生徒間交流を活発
にさせて、様々な課題にコミットさせる。特に、海外留学生は文化や言葉の違いから、今後
の多様な社会性を考慮したとき、在校生にとっていい刺激になると思います。

※えびの市は国際交流のまちとPRしているが、実感がないのもその理由です。

以上が事前に提出していただいた内容になります。これらを踏まえて、この会での「3年後の理想の飯野高校像」を検討し、それを実現するに当たって、まず何をすべきか？ 1年後までにどうなっているべきか？ 2年後は？ を検討していきたいと思います。

3年後の理想① 国内外を問わず認知度が高まり、存在感のある学校となる

- 現状
- ・飯野高校という名前を聞いても、どこにあるのかわからない人がいる。「えびの市の」と言えば解ってもらえる
 - ・以前行っていたえびの市主導の、中国研修(夏休みに生徒の代表者が参加)は、コロナウイルス感染症の影響でそれ以後実施されていない。
 - ・海外からの受け入れも、国際交流協会を通して農業研修生はいるけれども、それ以外の目的でえびの市に来る人は少ない。

まず取り組むべきことは？

- ・加久藤にある日章学園九州国際高等学校との、交流・連携を図ってみてはどうか
- ・台湾の大学との連携を活用する

1年後までに実現すべきこと

- ・ロータリークラブを通じて、県内の留学生との交流を図ってみてはどうか

2年後までに実現すべきこと

- ・海外からの留学生を受け入れてみてはどうか。
- ・世界に向けて、日々情報の発信を継続する。

3年後の理想② 地域との連携を深め、ふるさとを愛する心を育む学校となる

- 現状
- ・飯野小や飯野中の生徒を含む飯野地区の方との交流は、地域貢献・地域支援活動を中心に行われているが、他の真幸地区や加久藤地区との交流は進んでいない。
 - ・昨年市内の小中学生の学習指導を、探究活動の一環として昨年度の卒業生が行った。今年はその活動を飯野中学校の生徒が引き継ぐ形で行った。
 - ・地域の方により学校を知ってもらうためには来校してもらうのが一番だが、完全オープンにするのはリスクが大きい。

まず取り組むべきことは？

- ・昨年度も実施している「えびの未来カフェ」を本年度も10月26日(土)の15時から行うので、そこで地域の方との交流を図り、お互いを知ることでその輪を広げたい。
- ・市内の小中高の吹奏楽に興味のある人を集めて交流を図りたいと考えている方もいらっしゃるのでは、取り組んでみてはどうか。

1年後までに実現すべきこと

- ・外部の方を呼んで、特定のテーマについて話し合う機会を増やす。

2年後までに実現すべきこと

- ・地域の中中学生や小学生を、海棠祭文化の部(えびの市文化ホール)に招待してはどうか。
- ・同時に地域の方の参加も検討してはどうか。

4. 現在の取り組み内容

①飯野高校CSキャストについて

就職面接指導・・・企業等で入社面接等を実際に行った経験のある方

②校内緑化活動について

正門横花壇の造成、花植、手入れ

③防災について

防災士育成・・・えびの市地域防災課の方に資格取得についての説明をしていただいた

今年度の受講希望者は1人

県主催の高校生防災・学校安全研修に2年生3名が参加

ベンチかまどを利用した防災研修

今年度は防災をテーマに探究する生徒がいないため、実施できない。

④生徒と、学校運営協議会の委員および地域の方との未来カフェ

今年度第3回の学校運営協議会は、11月27日（水）を予定しています。

水曜日は、普通科の23年生が地域貢献・探究活動を行う日で、1年生はえびの学があるので、

⑥⑦限目の時間（14:40～16:30）を授業参観の時間として、17:00から生徒との未来カフェを
予定しています。

⑤昨年度提案した、近隣住民の方向けの「図書館開放」

難しい状況です

5. 今年度新たに検討していきたい内容（これまでに十分な協議が出来ていないものを含む）

各委員の方からの提案

・PTAの交流

保護者と教員といっても特定の交流しかなく、同じクラスの保護者間でも話をしたこともない場合が多い。

一緒になって子ども(生徒)を育てるために、お互いに協力できる関係が築けないか。

子ども(生徒)も一緒になって様々な年代がそろって、話をする場面が作れないものか

・学校が地域に要望することはないのか。

探究活動等で、生徒の要望に対して、地域の協力が得られないか

・運営委員立場としては、生徒が何をきっかけに活動内容を決めていって、初動をどのように行うのかを知りたい。初期の段階から関わってみたい。

6. 学校の現状

①制服について

ポロシャツを着用している生徒が約半数（女子生徒の割合がやや多い印象）
女子生徒のズボン着用もある（寒くなるにつれ増えるのではないか）
現状、大きな問題は見受けられない

②オープンスクールについて

昨年度まで120名から130名の参加者であったが、今年度は190名の参加者が見られた。
県外生8名、県内西諸地区以外7名

③DXハイスクールの指定

年間一千万の予算

④中華医事科技大学（台湾）との連携協定締結

7月初旬に協定締結、同時に交流会も実施
8月下旬に、梅北先生と生徒4名が台湾訪問

7. 本年度の協議会活動日程について

年間4回実施予定

予定 第3回 11月27日(水)
第4回 2月19日(水)

海棠祭 文化の部 8月30日(金)、31日(土)
教科登録説明会 1学年 10月11日(金)
2学年 10月15日(火)

8. 閉会のことば

9月15日(日)スプラッシュフェス

連絡先

宮崎県立飯野高等学校
電話(0984)33-0300
FAX(0984)33-5204
CS担当 中村 聖浩